

関西大学堺キャンパス地域連携シンポジウム

“まちづくり”を楽しもう！

～ 笑いとエンターテインメントによる地域活性化をめざして ～

超高齢社会を迎えた日本にとって、全国の地方自治体における地域の活性化は大きな課題となっています。関西大学堺キャンパスでは堺市と協同しながら笑いやユーモアを活用した各種イベントや連携講座等を行ってきました。本シンポジウムでは、パネリストからのさまざまな事例報告を手がかりとして、笑いとエンターテインメントを堺市の地域活性化に活かす方法について堺市の皆さんとともに考えます。

日時

平成26年 **9月6日(土)** 13:30～15:30

場所

関西大学堺キャンパス (裏面地図参照)

入場無料

■ プログラム

[コーディネーター・司会：森下 伸也]

- 基調講演 (13:30～14:30)

エンターテインメントの冒険

—— 地域活性化 × 映画・番組制作

講師 角田 陽一郎 氏 (TVプロデューサー／ディレクター／映画監督)

映画や番組を地方で制作することは情報発信という側面だけでなく、ロケ場所探し、オーディション、撮影参加、食事・移動・宿泊の援助等々、さまざまな事案を撮影地にもたらします。ならばその行為自体をエンターテインメントにしちゃおう！ 街ぐるみで“制作”を楽しみましょう！



- 事例報告 + パネルディスカッション (14:30～15:30)

[報告①]

笑い祭りと地域連帯

森下 伸也 (関西大学人間健康学部教授)

世界どこでもお祭りは地域の連帯の象徴であり、連帯感の源泉でもあります。とりわけ日本にはユニークな笑いの祭りが多くあって、愉快的連帯感の源泉となってきました。本報告ではその様子を映像で紹介し、笑いを地域の活性化に生かす道を考えます。



[報告②]

堺市体操！ 只今制作中

弘原海 剛 (関西大学人間健康学部教授)

私の研究室では、現在「堺市体操」を制作中です。体操の内容はもちろんですが、それを指導できる人材も同時に育成中です。体操も指導者も“魅力的”なものにしたいと考えています。キーワードは「エンターテインメント」。「楽しさをいかに伝えるか」が重要です。



角田 陽一郎 (かくた よういちろう)

1970年千葉県生まれ。東京大学文学部西洋史学科卒業後、1994年にTBSテレビに入社。「さんまのスーパーからくりTV」「中居正広の金曜日のスマたちへ」「EXILE魂」等バラエティー番組を手がける。2013年、富山県魚津市を舞台とした初監督の映画『げんげ』（出演：塚地武雅 [ドラングドラゴン] / 山田優）を制作。今年度「ACC CMフェスティバル」インタラクティブ部門審査員。

現在、いとうせいこう / ユースケ・サンタマリアMCのトーク番組『オトナの!』をTBSにて放送中 (You Tubeで視聴可)。

森下 伸也 (もりした しんや)

長崎大学、ウィーン大学、金城学院大学などを経て現職。専攻は社会学、ユーモア学。日本笑い学会会長、NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会理事。著書に、『ユーモアの社会学』、『もっと笑うためのユーモア学入門』、『逆説思考』など。

弘原海 剛 (わだづみ つよし)

専門は運動生理学。現在、実験系の研究を進めるかたわら、高齢者を対象とした「生きがいと健康」を研究テーマとしている。唄って踊れる運動指導者を育成することが夢であり、現在、学生達と一緒に地域の健康づくり活動に貢献する活動を展開している。

申込方法

FAXまたはハガキにて、①郵便番号・住所 ②お名前・ふりがな ③電話番号 をご記入の上、締切日必着で下記の宛先までお送りください。(※8月22日(金)必着)
講座開催の3日前までに聴講券を送付いたしますので、当日ご持参ください。
なお、当日欠席される場合のご連絡は不要です。

対象

堺市民、堺市職員、その他、笑いやユーモアを地域活性化や子育て、教育、福祉等の分野に活かす方法にご興味のある方。

定員

300名。応募者多数の場合は、抽選にて決定。
当選者・落選者ともに通知いたします。

宛先

関西大学堺事務局 地域連携担当
「“まちづくり”を楽しもう！」係
〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-1 1-1

FAX

072-229-5082

お問合せ

関西大学堺事務局 地域連携担当
072-229-5024 (代表)

HPアドレス

http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/



FAX送信用紙 関西大学堺キャンパス「“まちづくり”を楽しもう！」係

FAX番号 072-229-5082

住所 〒 —	
ふりがな 氏名	電話番号 — —